

将来への視野が広がりました 職業人講話会と職業体験学習を実施

進路学習（職業学習）の一環として「はたらく方々からお話を伺う会」を15日（月）に行いました。県社会福祉協議会のご協力により、看護師、保育士、福祉施設で働く精神保健福祉士の3名にご来校いただき、それぞれの方々からお話をいただきました。



18日（木）には、同じく福祉協議会のご協力により、福祉関係の職場の体験活動を行いました。この中には、車椅子介助、視覚障害者介助、身体が不自由な方への食事介助の技能を学んで体験すると共に、視覚や身体が不自由な方々を疑似体験するキャップハンディー体験ができました。



生徒の感想から抜粋

上写真（右：白杖体験、 中：車椅子、 左：介助）

職業人講話会 今回は3つの職業についてだったけど、どんな職業にもいいところがたくさんあり、社会にはもっといろいろなお仕事があるので将来に向けてもっと目を向けて悩んでみようと思いました。（1組） どの仕事にもやりがいというのがあって仕事ってけっこう楽しいのかなと思いました。（2組） どの仕事も「ありがとう」という言葉が仕事のやりがいにつながると言っていたので感謝を伝えることを習慣づけようと思いました。（2組）

障害者支援体験学習 実際にいろいろ体験したり見たりして、身体の不自由な人は、とても不便で大変な生活をしているのだなあと思いました。また普段の生活の中には、障害者の人のための工夫がたくさんあったことも分かりました。（3組）